



# 臨床糖尿病支援ネットワーク

## MANO a MANO



“mano a mano”とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

### 7年後の被災地を巡り想うこと ～復興支援の重要性～

[当法人評議員]

大和調剤センター

森 貴幸 [薬剤師]

2011年3月11日に起こった東日本大震災を支援するために2度被災地に行きました。その後2016年4月14日と16日に起きた熊本地震でも被災地支援に行きました。自分自身を含め多くの人が7年前の記憶が風化されだしていることに危機感を感じる毎日を過ごしています。

2017年5月に熊本支援に入った薬剤師の仲間と1年後の熊本・益城町の状態を見て次に生かすことができないかと考え行ってみました。熊本地震は地域がある程度限定されているにも関わらず今でもまだ半倒壊した建物や修繕中の建物なども多くありました(写真①)。復興にはまだまだ遠い道のりだと感じました。

2018年5月には自分たちが被災地支援をしてきた場所、宮城県石巻市から岩手県大船渡市までを見ました。被災地は復興工事が今なお続いています。かさ上げ工事を行っている地域や防波堤を再度作っている場所など様々ですが海のある地域はダンプが行き交うままで、人が住んだり活動できる場所ではありませんでした。どのくらい続くかわからない公共工事であります。被災者は津波の到達しなかった場所へ移転を余儀なくされています。住んでいた場所を離れることは辛いと思います。亡くなった多くの方が住んでいたところも今は面影もなくなっています。奇跡の一本松(写真②)を見て当時の松林で残った松ですが枯れてしまつて倒壊の恐れがあり保存するために伐採され防腐処理をされて元の場所に建てられたものがありました。



写真①

所々に震災遺構として今後も残していく決断をした建物などがありました。震災遺構を見るだけではその時の置かれた状況がわかりませんが南三陸町のさんさん商店街にあるさりょうスタジオの写真展を見て震災遺構を見るとその時の辛い状況が見えてきました。とても心が震えてきました。

ここまで支援してきたもの、見てきたもの、感じたものを伝えてきました。次は復興支援をどう伝えていくかだとも思います。被災者が一刻も早く被災者からの脱却ができるように支援をしていきたいと感じました。

被災地支援をやってきて思うことは、支援を終わらせないということだとも思います。今なお被災地の方々には震災の復興に向けて頑張っています。風化を止めることは難しいかも知れませんが年2回の災害講習会を医療者向け、患者さん向けに情報発信をする機会を続けていくことが重要だとも思います。



写真②

読んで  
単位を  
獲得しよう

西東京糖尿病療養指導士(LCDE)は、更新のために5年間に於いて50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**(5年間で10単位)を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。  
(「問題」は、過去のLCDE認定試験に出題されたものより選出、一部改変しております。)

**問題** 家族が患者を非難したり、食行動を監視したりするような不適切な関わりを何と呼ぶか。正しいのはどれか、1つ選べ。  
(答えは3ページにあります。)

1. 糖尿病探偵
2. 糖尿病警察
3. 糖尿病裁判
4. 糖尿病大臣
5. 糖尿病奉行





## 第61回日本糖尿病学会年次学術集会

平成30年5月24日(木)～26日(土)

東京国際フォーラム

[当法人評議員]

東京医科大学八王子医療センター  
天川 淑宏 [理学療法士]

「糖尿病におけるサイエンスとアートの探究」をテーマに宇都宮一典会長(慈恵医大)のもと開催された。多くのサイエンス発表のなか「地域での包括的管理の課題と展望—糖尿病におけるアートの探求」(座長菅原正弘氏、加藤光敏氏)がシンポジウムで行われた。

座長より地域全体の糖尿病診療システムについて行政・日医の立場から枠組みが話され、シンポジストより自らの取組んでいる糖尿病診療と支援の在り方について発表があった。最初は、東京都福祉保健局田中敦子氏より糖尿病対策について地域連携登録医療機関数は、4年間で約3倍になり糖尿病による透析導入が減少したとの報告があった。続いて日本医師会の羽鳥裕氏より、診療情報を収集・解析する日医かかりつけ医糖尿病データベース研究事業(J-DOME)を2017年に開始、かかりつけ医への情報提供と前向き研究を継続的に実施すると強調された。慈恵医大葛飾医療センター横田太持医師からは、糖尿病チーム医療へオーブレダイアログの応用が提案され「患者の発言を否定せず傾聴し、患者、看護師、管理栄養士の3者の対話で価値観を共有し多職種間の説明相違をなくし患者の生活習慣により深く介入できた事例が述べられた。治療と介護をどうつなげるか総合ケアステーションわかば臼井玲華訪問看護師より、訪問看護に抵抗感を持つ患者を看護師が理解し共感に至った経験を「管理されることが嫌いという患者の特性を家族との会話から得たことがきっかけ」と振り返り、看護師の支援を患者がどう受け止めたかを知ることが重要と話された。在宅療養支援診療所福岡クリニック中村育子管理栄養士より、外出機会の少ない高齢者では、食事以外の楽しみが減り、栄養バランスも崩れ易いとのことより、管理栄養士は家族やケアマネジャーと協働し栄養や食事の管理だけでなく、通所サービスなど食事以外に楽しみを見つける提案も、高齢者にとっては必要であると話された。最後は、東京医大八王子医療センター理学療法士(筆者の天川)より、加齢による身体機能変化を理解し個別性を重視した実用性ある運動が欠かせないとし、筆者が地域ケアとして保健師、介護士と取り組んでいる、高齢者率33%の清川村での運動教室について「立ち上がる」といった日常動作への基本的な視点から運動を組み立てることで介入前より個々の活動強度が有意に上がったと報告した。なお、各発表後には会場に参加された方々との活発なディスカッションも行われた。



5月24日から26日まで東京国際フォーラムをはじめ4会場で開催された糖尿病学会に参加してきました。東京での開催ということもあり、とても参加者が多く盛会であったと感じました。余談ですが自分の参加した会場はどこも新しくきれいでした。

それでは強く印象に残ったシンポジウムを紹介したいと思います。CDEJとの合同シンポジウム「糖尿病療養指導におけるサイエンスとアート CDEJの未来に向けて～療養支援の魅力とやりがい～」で、臨床検査技師ならではの「分析」をキーワードにした患者指導でした。発表事例はあまり治療に協力的ではなかった技術者である患者さんにHbA1cについてHPLCの分析方法から話を始め、最後にデータ解析まで話をして興味を引いてから臨床的意義や目標の話をして治療に前向きにすることができたとのことでした。高齢者や一般的な患者さんに対しては非常に平易な言葉で説明しており、その使い分けの大切さを再認識しました。また検査結果説明も行いチーム医療に貢献しているとのことでした。

糖尿病療養指導と直接関係する事ではありませんが、WHO国際疾病分類 ICD11の国内導入に向けても聴講してきました。臨床検査技師はICD分類を行う事はありませんが、この分類法を聴けたのは仕事上とても有意義でした。(自分が病理検査に関係していたからかも知れませんが・・・)これからのチーム医療により深く関わることのできる臨床検査技師を増やしていかなければならないと痛感しました。

[当法人評議員]

公立昭和病院

櫻井 勉 [臨床検査技師]



## 事務局からのお知らせ



事務局へのお問い合わせは当法人ホームページで常時受付けております。ご返信にはお時間をいただく場合がございますが、順次対応させていただきます。お急ぎの方は平日の10:00~12:00 / 13:00~16:00にお電話くださいようお願いいたします。

## ◆ 第19回 西東京糖尿病療養指導士養成講座

申込必要

期 間：平成30年9月～12月

時 間：19:00～21:00（開場18:30）

場 所：立川市女性総合センターアイム 1階ホール（JR「立川駅」北口徒歩7分）

受講料：14,000円（全14回講義分として）※会員価格となります

日 程： 9月 ⇒ 5日(水) 12日(水) 21日(金)  
 10月 ⇒ 4日(木) 10日(水) 16日(火) 25日(木) 30日(火)  
 11月 ⇒ 5日(月) 20日(火) 30日(金)  
 12月 ⇒ 7日(金) 10日(月) 18日(火)  
 予備日 ⇒ 12月27日(木) ※休講等、不測の事態に備えた補講日

定 員：190名（定員に達し次第締め切ります）

テキスト：「糖尿病療養指導ガイドブック 2018」

（日本糖尿病療養指導士認定機構発行 ㈱メディカルレビュー社発売 税込3,240円）

※テキストは、当日までに各自ご用意ください。書店にご注文いただくか、インターネット（アマゾン、楽天ブックス等）でも購入できます。

申 込：当法人ホームページ【<https://www.cad-net.jp/>】より

申込方法の詳細は、以下の頁でご案内します。

トップページ > 「重要なお知らせ」 > 「第19回西東京糖尿病療養指導士養成講座のご案内」  
 又は「新着情報」

西東京糖尿病療養指導士・認定試験実施日：平成31年2月17日（日）

※試験の詳細については、講座期間中にご案内します。

問合せ：臨床糖尿病支援ネットワーク事務局 TEL：042-322-7468



読んで  
単位を  
獲得しよう

答え **2** 下記の解説をよく読みましょう。

（問題は1ページにあります。）

## 解説

患者にとって、家族は最も身近な存在で、安息の拠点であり、互いに影響し合う存在である。家族の一人が糖尿病になるということは、家族にとっても乗り越えるべき課題が生じたことになる。課題克服のために、支援しようと患者の行動を監視したり、血糖値の高いこと、低いことの原因を問い詰めたり、なぜできないのか非難したり、〇〇を食べてはいけないと押し付けたり、警察の取り調べのようになってしまうことがある。

患者が、一人で療養を行うには限界がある。医療者は、患者と家族の関係性を把握し、患者が家族の協力を得ることができる環境を作る必要がある。また、患者と共に糖尿病をもちながら生きていくというスタンスがもてるよう、家族を支援することが求められる。



## 研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
  共催・後援事業
  その他

 西東京CDEの会 第17回例会

 申込必要

テーマ：『糖尿病性腎症の重症化予防』

開催日：平成30年8月25日（土）15：30～19：00

場所：府中市立中央文化センター ひばりホール（京王線「府中駅」下車 徒歩5分）

参加費：当法人会員 1,500円 / 一般 2,500円

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（8/10締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位申請中

詳細資料の  
同封あり

 第6回市民向け災害セミナー

 申込必要

開催日：平成30年8月26日（日）14：30～16：00

場所：武蔵野スイングホール 11階（JR中央線「武蔵境駅」北口下車 徒歩2分）

申込：FAX：042-322-7478（8/19締切）

参加費  
無料

 第25回TAMA生活習慣病フォーラム

 申込必要

開催日：平成30年9月8日（土）17：00～19：30

場所：調布市文化会館たづくり 12階 大会議場（京王線「調布駅」広場口下車 徒歩4分）

参加費：500円 申込：FAX：042-400-5952（8/31締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

詳細資料の  
同封あり

 第12回西東京糖尿病運動指導スキルアップセミナー

 申込必要

テーマ：『高齢者のための運動療法～転倒防止のための運動療法～』

開催日：平成30年9月9日（日）8：30～17：00

場所：興和ビル 11階ホール（JR総武線「新日本橋駅」下車 徒歩1分）

参加費：当法人会員 5,000円 / 一般 7,000円

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（9/2締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：2単位申請中

☆健康運動療法士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な必修単位<講義/実習>：計6.5単位

詳細資料の  
同封あり

 第19回糖尿病予防講演会

 申込不要

テーマ：『現代食事情』

開催日：平成30年9月29日（土）14：00～17：25

場所：ルミエール府中 コンベンションホール飛鳥（京王線「府中駅」下車 徒歩6分）

参加費：当法人会員 5,000円 / 一般 7,000円

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（9/10締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位申請中

参加費  
無料

詳細資料の  
同封あり

 第23回糖尿病療養担当者のためのセミナー

 申込必要

開催日：平成30年9月30日（日）9：50～18：00

場所：東京経済大学 国分寺キャンパス2号館（JR中央線「国分寺駅」南口下車 徒歩12分）

参加費：4,000円 申込：FAX：03-5574-9970（9/18締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：2単位申請中

詳細資料の  
同封あり

## 発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局  
〒185-0012  
国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802  
TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478  
https://www.cad-net.jp/  
Email:w\_tokyo\_dm\_net@crest.ocn.ne.jp

## 編集後記



今年の東京は観測史上最も早い梅雨明けとなり暑い日々が続いています。梅雨明けが早かったので涼しくなるのも早いのかしら、などと淡い期待を抱いていましたが、先日のニュースでは、涼しくなるのは例年通りになるでしょう、とのこと。まだまだ暑い日が続きそうです。患者さんとも、脱水や夏バテ防止のお話が増えています。適度な運動と栄養、休養をしっかりとり暑い夏を乗り切りたいですね。（広報委員 永田 美和）